

赤城グループ

介護事業に参入

NEXTと来月、都内にデイ施設 FIC契約

教習所運営が主力の赤城グループ(本部・伊勢崎市赤堀今井町、小倉基義会長)は介護事業に参入する。3日、グループ傘下の思川産業(東京都世田谷区)が機能訓練特化型デイサービス施設「GENKI NEXT」を全国展開する介護NEXT(同市鹿島町、大平雄伸社長)とフランチャイズ契約を締結。5月1日に東京都世田谷区で介護認定者向けのデイサービス施設を開設し、店舗拡大を目指す。

NEXTとのフランチャイズ契約は、昨年11月に眼鏡チェーンの板垣(伊勢崎市)も締結している。思川は、専門学校は「接骨や鍼灸に加え、介護という将来の選択肢が増える。」

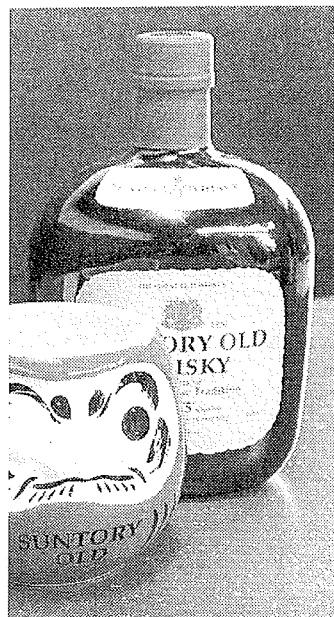
グループが運営する「生徒の学びの場創出 確保も兼ねる。施設は「いた整骨院を改装す新宿鍼灸柔整専門学校」と、卒業生の就職先の「先月まで思川が経営」する。県内企業の介護N

専門学校は「接骨や鍼灸に加え、介護という将来の選択肢が増える。」

高崎の新名物です

高崎市内を中心とした「ハイボール」の販売を始めた。県内流通が盛んな豚や牛の「点晴ぐんま」が発足、ホルモンを使った独自メニューや、高崎名産の梅を漬けた梅酒も開発し、「当

ハイボール



飲食店30店が連携

地色豊かな仕掛けを進め、30店が独自メニューを考案し、食べ歩きマップを作製した。また、川場村の土田酒造に依頼してオリジナル梅酒を開発し、近

現在、約30店で販売する「だるまハイボール」は、リジナル梅酒を開発し、近

地色豊かな仕掛けを進め、30店が独自メニューを考案し、食べ歩きマップを作製した。また、川場村の土田酒造に依頼してオリジナル梅酒を開発し、近

ホームバザー

高崎に2店目

あす開店

県内の店舗は5カ所目、高崎市内では下之城町に続いての出店となる。売り場面積は約500平方メートルで、キッチンやリビング用品、インテリアなど雑貨全般を扱う。15日までオープンセールを行う。午前10時〜午後9時。



5日にオープンするホームバザー 高崎飯塚店

え、生徒にとつては大きなメリット」と説明。一方、介護NEXTは「今後は学校法人関係の契約も出てくるかもしれない」と期待を寄せる。

「GENKI NEXTでは、「お年寄り」を寝たきりにしない」と期待を寄せる。

街角デパート

市場内にすし店

イベントを開く。チケット売り場で「ハートロック」と合言葉を言うとうと未婚のカップルは入場無料。1組に同